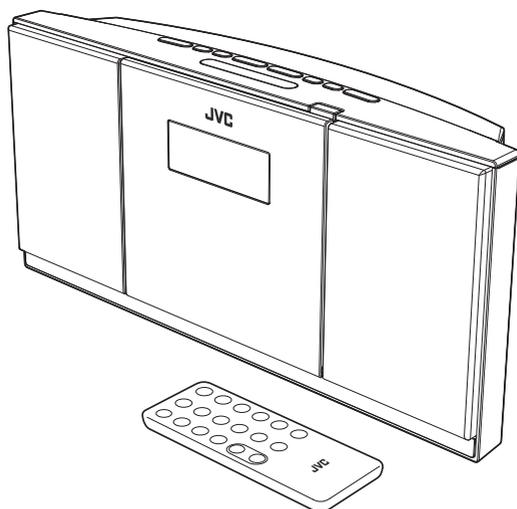


コンパクトコンポーネントシステム

NX-PB30



MP3/WMA



・ もくじは4 ページにあります。

お買い上げありがとうございます

⚠ ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



**ユーザー登録
のすすめ**

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されている場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>



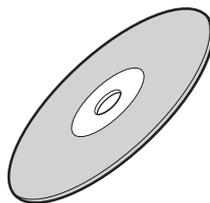
こんなことができます

BLUETOOTH 機器を聴こう



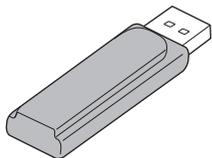
(p. 12)

音楽 CD や音楽ファイル(MP3/WMA)を聴こう



(p. 15)

USB メモリーの音楽ファイル(MP3/WMA)を聴こう



(p. 15)

ラジオ(FM/AM)を聴こう



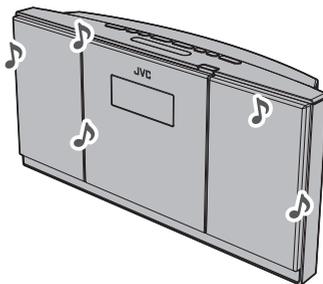
(p. 20)

外部機器の音楽ファイルを聴こう



(p. 22)

サウンドモードを調節して
好みの音質で楽しもう



(p. 23)

お知らせ

・ 本機の操作で困ったときは、「故障かな?と思ったら」p. 26 をご覧ください。

はじめに

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

本書の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone、iPad を含みます。iPod touch、iPhone、iPad を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」、「iPad」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3/WMA の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」、「グループ」と「フォルダー」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2 通りあります。

ボタンを短めに押す：

ボタンを軽く短めに「ポン」と押し、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押し時間や力を調節して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す：

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



レーザー製品についてのご注意

- この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
- 注意：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

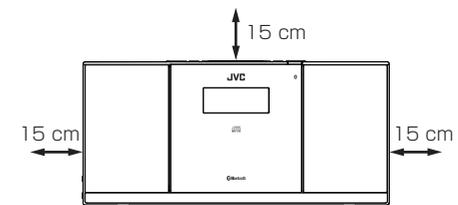
この製品の機種銘板やその他の情報は、本体の背面にあります。

本機を設置するときは

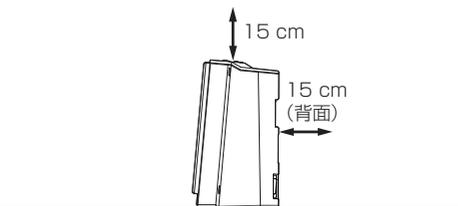
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

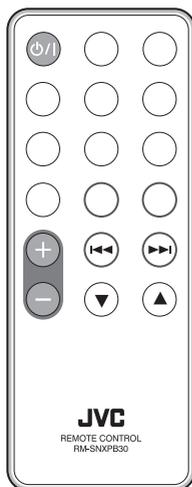
こんなことができます	2	ラジオを聴く	20
はじめに	3	放送局を受信する	20
本機を設置するときは	3	受信状態を改善する(アンテナ調整)	20
準備	5	放送局を記憶させる(プリセット)	21
付属品を確認する	5	外部機器を聴く	22
リモコンを準備する	5	外部機器を接続する	22
各部の名称	6	外部機器を聴く	22
リモコン	6	その他の機能	23
本体上面	7	サウンドモードを使う	23
本体前面	7	表示される情報を変える	23
本体背面	8	スリープタイマーを設定する	23
本体側面	8	その他の情報	24
表示部	9	使用できる BLUETOOTH 機器	24
接続	10	再生できる CD とファイル	24
電源コードを接続する	10	USB メモリーのご注意	24
ヘッドホンを接続する	10	CD-R/CD-RW のご注意	24
基本操作	11	MP3/WMA ファイルのご注意	25
電源を入れる/切る	11	お手入れについて	25
ふだんの使いかた	11	商標	25
BLUETOOTH 機器を聴く	12	故障かな?と思ったら	26
BLUETOOTH 機器を接続する	12	主な仕様	28
BLUETOOTH 機器の基本操作	13	保証とアフターサービス	31
接続を解除する	13		
電波について	14		
USB メモリー/CD を聴く	15		
USB メモリー/CD を準備する	15		
USB メモリー/CD の基本操作	16		
プログラム再生をする	17		
リピート再生をする	19		
ランダム再生をする	19		

準備

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

リモコン RM-SNXPB30 (1個)



リモコンを準備する

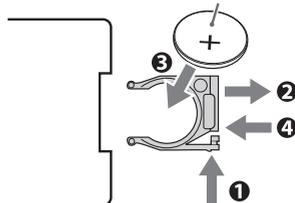
初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池を交換する

操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

電池の+と-の向きを正しく入れてください。

リチウム電池 (CR2025)



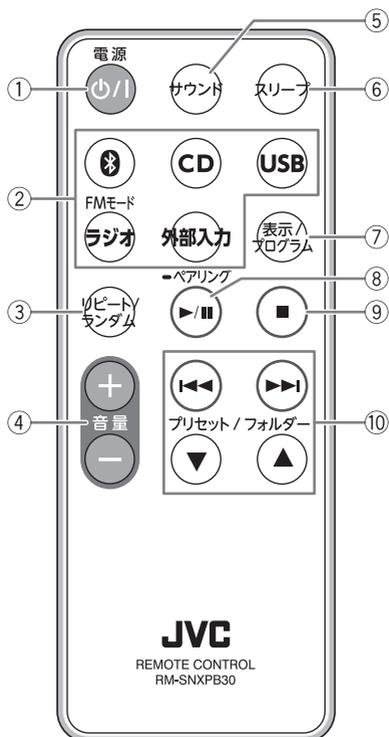
お知らせ

付属の電池について

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお使いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつかけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

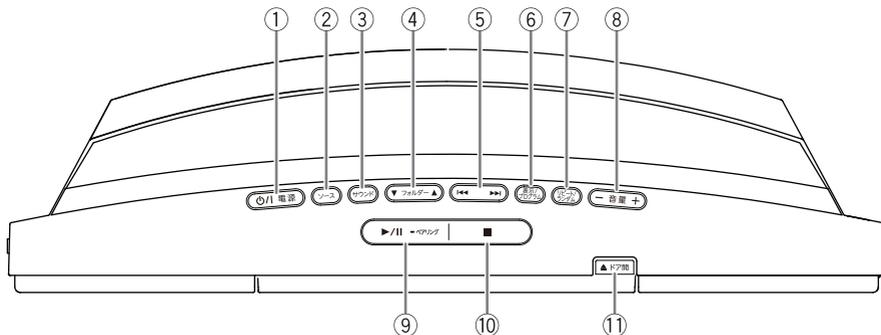
各部の名称

リモコン



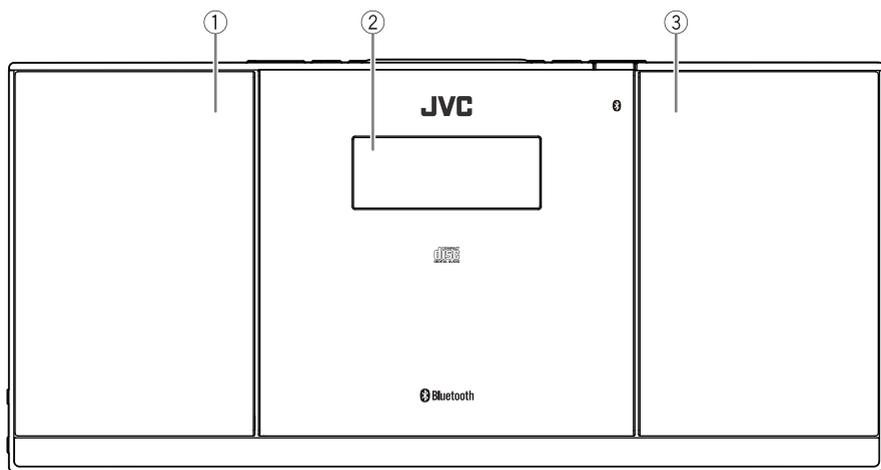
- | | |
|------------------|--------------------|
| ① 電源 (電源) ボタン | ⑥ スリープ ボタン |
| ② ソース (音源) 切換ボタン | ⑦ 表示/プログラム ボタン |
| ③ リピート/ランダム ボタン | ⑧ ▶/ (ペアリング) ボタン |
| ④ +/-(音量) ボタン | ⑨ ■ ボタン |
| ⑤ サウンド ボタン | ⑩ ◀/▶/▼/▲ ボタン |

本体上面



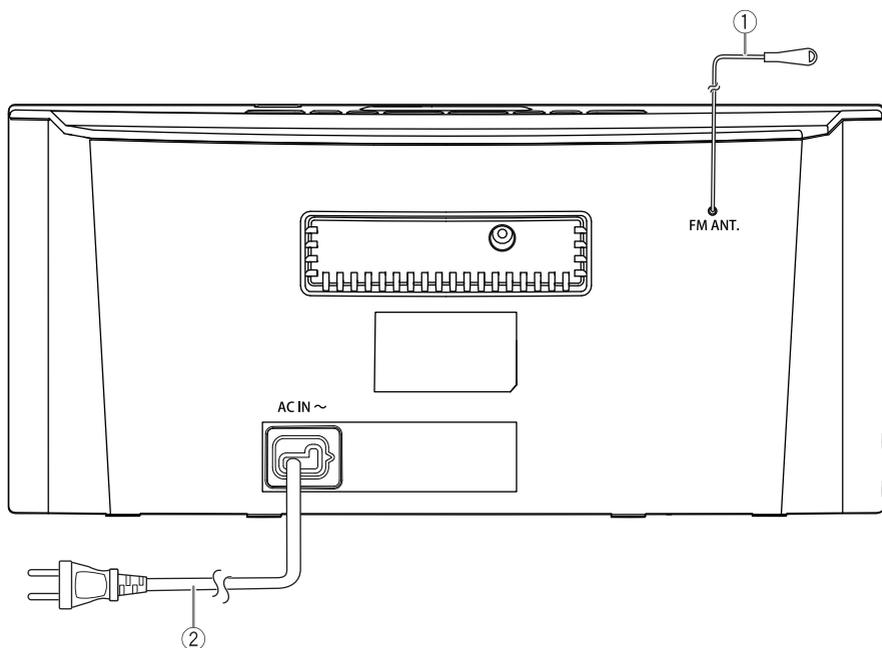
- ① 電源(電源)ボタン
- ② ソース(音源)切換ボタン
- ③ サウンドボタン
- ④ ▼/▲(フォルダー)ボタン
- ⑤ ◀▶(再生/一時停止)ボタン
- ⑥ 表示/プログラムボタン
- ⑦ リピート/ランダムボタン
- ⑧ +/- (音量)ボタン
- ⑨ ▶/|| (ペアリング)ボタン
- ⑩ ■ ボタン
- ⑪ ▲(ドア開)ボタン

本体前面



- ① リモコン受光部
- ② 表示部
- ③ BLUETOOTH ランプ

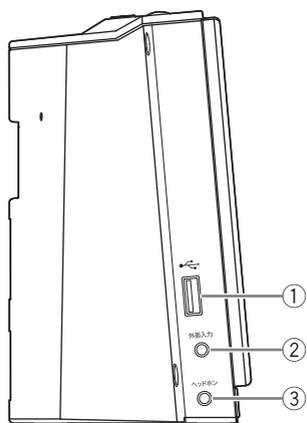
本体背面



① FM アンテナ

② 電源コード

本体側面

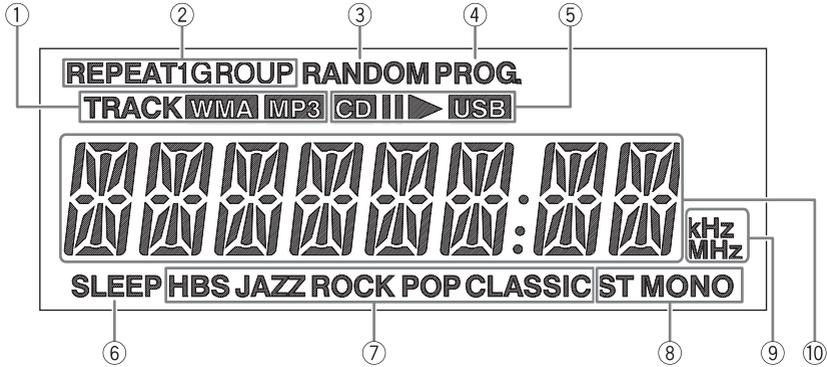


① USB 端子

② 外部入力端子

③ ヘッドホン端子

表示部



① オーディオファイルの種類

再生しているオーディオファイルの種類(MP3/WMA)に応じて点灯します。

② リピートモードアイコン

REPEAT 1 : 1 曲リピートのときに点灯します。(「CD」、「USB」)

REPEAT GROUP : リピートの範囲が現在のグループ内のときに点灯します。(「CD」、「USB」)

REPEAT : 全曲リピートのときに点灯します。(「CD」、「USB」)

③ RANDOM アイコン

④ PROG.(プログラム)アイコン

⑤ CD/USB メモリーなどの状態

CD : ソース(音源)を CD にすると点灯します。

II : 一時停止中に点灯します。

▶ : 再生中に点灯します。

USB : ソース(音源)を USB メモリーにすると点灯します。

⑥ SLEEP アイコン

⑦ サウンドモードアイコン

⑧ FM モードアイコン

ST : ステレオ放送受信中に点灯します。
MONO : FM モードが「MONO」のときに点灯します。

⑨ kHz / MHz アイコン

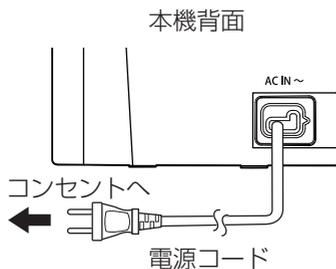
放送局の周波数を表示するときに点灯します。

⑩ メインディスプレイ

接続

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。



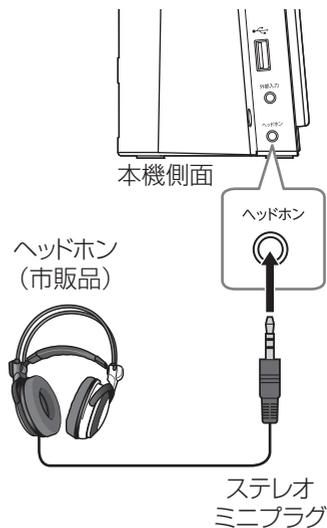
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の標準 3 極タイプ・ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン

電源



本体



ふだんの使いかた

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン



本体



(くり返し押す)

2 音量を調節する

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

・ 調節範囲: MIN. 1 ~ 30. MAX

お知らせ

- ・ サウンドモードを使って、お好みの音質に調節できます。(p. 23)

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機を登録(ペアリング)する必要があります。

BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 ソース(音源)を「BT」にする

リモコン

本体



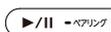
(くり返し押す)

2 ペアリングモードにする

リモコン

本体

-ペアリング



(押し続ける)

(押し続ける)

- ペアリングモードに入ると、BLUETOOTH ランプが早く点滅します。
- ペアリングモードを中止するときは、[■] ボタンを押します。BLUETOOTH ランプがゆっくり点滅します。

3 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

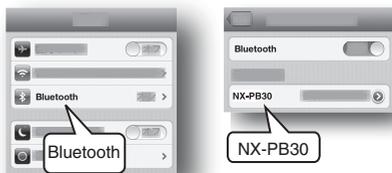
「設定」→「Bluetooth」の順にタップする

または、

「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

4 相手機器で「NX-PB30」を選ぶ



- ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。
- BLUETOOTH ランプが点滅から点灯に変わります。
- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

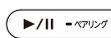
5 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン

本体

-ペアリング



- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- 音源を「BT」に切り換え、[▶/||] ボタンを押すと、本機と最後に接続した BLUETOOTH 機器と再接続します。
- ペアリングできないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。

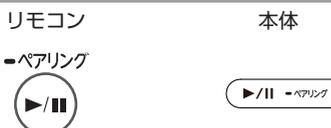
BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

最後に接続した BLUETOOTH 機器と接続し、再生することができます。

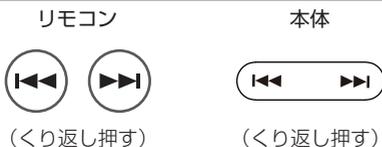


一時停止する



・もう1度押しと、一時停止を解除し再生します。

曲を選ぶ



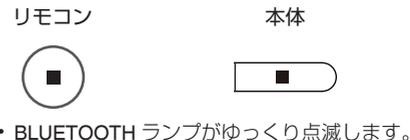
接続を解除する

1 相手機器との接続を解除し、ペアリングモードにする



- ・ペアリングモードに入ると、BLUETOOTH ランプが早く点滅します。
- ・他の BLUETOOTH 機器と接続できます。(p. 12)
- ・他の BLUETOOTH 機器と接続しないときは、手順 2 に進んでください。

2 ペアリングモードを解除する



お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- ・本機または相手機器の電源を切ったとき
- ・他のソース(音源)に切り換えたとき

ご注意

- ・本機に接続できる機器は、BLUETOOTH バージョン 2.1+EDR、BLUETOOTH プロファイルの A2DP と AVRCP に対応している必要があります。
- ・BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使用の環境によっては、これよりも短くなります。
- ・iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- ・本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- ・BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止)ができない場合があります。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

-分解/改造すること

-本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS 変調方式を表します。
- 1 : 電波干渉距離は 10 m です。
-  : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

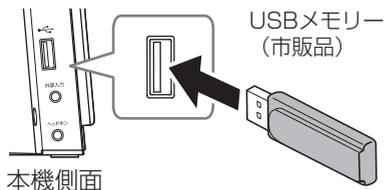
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリー/CD を聴く

USB メモリー/CD を準備する

USB メモリーを接続する



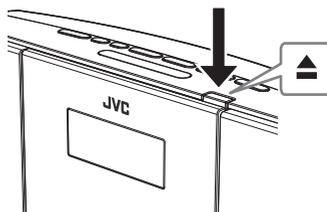
ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB メモリーのファイルシステムが破損する恐れがあります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーの USB 再生には対応しておりません。BLUETOOTH 接続または外部入力端子に接続して、再生してください。(p. 22)
- スマートフォンやポータブルプレーヤーなどを USB 端子に接続しても、充電はできません。

CD を入れる

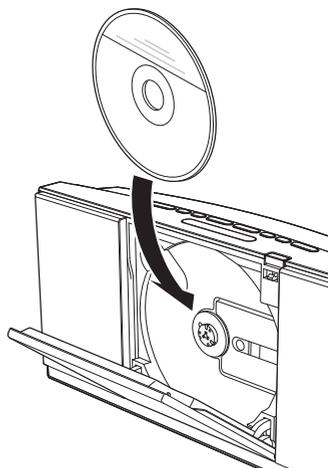
1 CD トレイのカバーを開ける

- 手で「カチッ」と押してください。

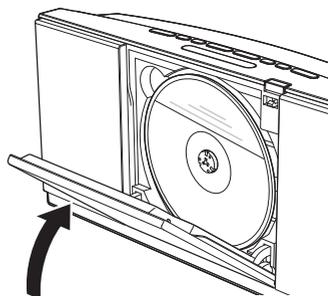


2 CD を入れる

- 「カチッ」と音がするまで CD を入れてください。



3 CD トレイのカバーを閉める



- CD 認識中は「READING」と表示されます。

USB メモリー/CD の基本操作

再生する

- 1 ソース(音源)を「CD」または「USB」にする
リモコン 本体

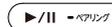


(くり返し押す)

- 2 再生する

リモコン 本体

-ペアリング



停止する

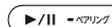
リモコン 本体



一時停止する

リモコン 本体

-ペアリング



もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ

リモコン 本体



(くり返し押す)



(くり返し押す)

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン

本体



(押し続ける)



(押し続ける)

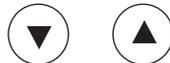
[<<] / [>>] ボタンから指を離すと、通常再生に戻ります。

グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)

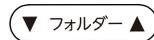
リモコン

本体

プリセット / フォルダー



(くり返し押す)



(くり返し押す)

プログラム再生をする

USB メモリーまたは CD の曲を、20 曲までお好みの順で再生します。

1 USB メモリーまたは CD の再生を停止する

2 プログラムモードを表示させる

リモコン 本体



(くり返し押し)



(くり返し押し)

・「PROG.」アイコンが点灯します。

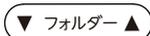
3 グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)

リモコン 本体

プリセット / フォルダー



(くり返し押し)



(くり返し押し)

4 グループを登録する(MP3/WMA ファイルのみ)

リモコン 本体



5 曲を選ぶ

リモコン 本体



(くり返し押し)



(くり返し押し)

6 曲を登録する

リモコン 本体

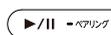


7 手順 3~6 をくり返して、他の曲を登録する

8 再生する

リモコン 本体

-ペアリング



・プログラムした順序で曲が再生されます。

・設定中および再生中は、「PROG.」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

リモコン 本体



(くり返し押し)



(くり返し押し)

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

プログラム再生停止中に

1 プログラムモードを表示させる

リモコン

本体



(くり返し押す)

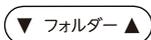
(くり返し押す)

2 グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)

リモコン

本体

プリセット / フォルダー



(くり返し押す)

(くり返し押す)

3 グループを登録する(MP3/WMA ファイルのみ)

リモコン

本体



4 曲を選ぶ

リモコン

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

5 曲を登録する

リモコン

本体



• プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラム再生を解除し内容を消去する

プログラム再生停止中に

リモコン

本体



「PROG.」アイコンが消え、プログラム内容が消去されます。

ご注意

- 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す

リピート再生をする

再生中または停止中に

1 リピートの種類を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

押すたびに設定が切り換わります。

消灯(切) : リピート再生を解除します。

REPEAT 1 : 現在の曲をくり返します。

REPEAT GROUP : 現在のグループの曲をくり返します。(MP3/WMA のみ)

REPEAT : USB メモリーまたは CD のすべての曲をくり返します。

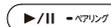
2 (停止中のときは)再生する

リモコン



-ベアリング

本体



お知らせ

- ・プログラム再生中に「REPEAT」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

「REPEAT」アイコンを消灯させる

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

- ・以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取り出す
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す

ランダム再生をする

再生中に「RANDOM」を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

お知らせ

- ・グループ内ランダムではなく、全曲ランダムになります。

ランダム再生を解除する

ランダム再生中に「RANDOM」アイコンを消灯させる

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

- ・以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取り出す
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
 - 停止する

ラジオを聴く

FM 放送を聴く前に、必ず FM ワイヤアンテナを伸ばしてください。

放送局を受信する

1 「FM ST」、「FM MONO」または「AM」を選ぶ

リモコン

本体

FMモード

ラジオ

ソース

(くり返し押し)

(くり返し押し)

押すたびに設定が切り換わります。

FM ST : FM ステレオ放送を受信するとき

FM MONO : FM モノラル放送を受信するとき

AM : AM 放送を受信するとき

2 放送局を選ぶ

リモコン

本体



- ・押し続けると、自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。
- ・くり返し押しすと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

お知らせ

- ・FM ステレオ放送が聴きにくいときは、リモコンの「ラジオ」ボタンまたは本体の「ソース」ボタンを押して「FM MONO」(モノラル受信)を選ぶと、聴きやすくなります。
- ・モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

受信状態を改善する(アンテナ調整)

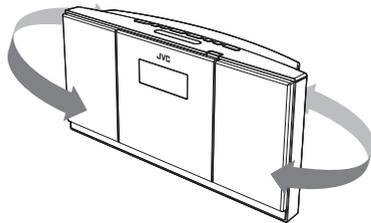
受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、アンテナを調整してください。

ご注意

- ・集合住宅など鉄筋構造の住居では、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、本機を窓際に近づけてください。
- ・AM 放送受信の妨げになる場合があるため、本機は電気製品や他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

AM 受信感度を調整する

AM アンテナは本機に内蔵されています。本機を左右に動かして、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

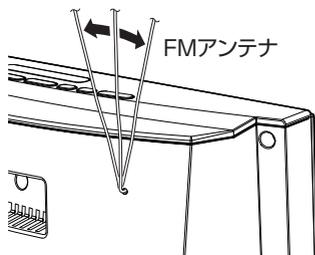


FM ワイヤーアンテナを調整する

本機背面の FM ワイヤーアンテナを調整し、固定します。

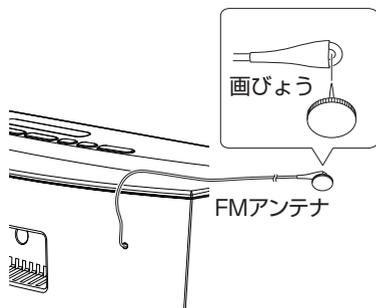
1 FM 放送を聴きながら、FM アンテナの位置を調整する

高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。



・ FM アンテナは、できるだけまっすぐに張ってください。

2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる



ご注意

- ・ 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようにご注意ください。
- ・ FM アンテナが結ばれているときは、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM の放送局を最大 20 局、AM の放送局を最大 10 局まで記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 プリセット番号を表示する

リモコン

本体



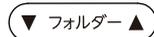
- ・ 表示の数字部分が点滅します。数字が点滅している間に、以下の設定をしてください。

3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

リモコン

本体

プリセット/フォルダー



(くり返し押す)

(くり返し押す)

4 記憶させる

リモコン

本体



お知らせ

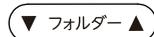
- ・ プリセットを中止するには、[■] ボタンを押します。

記憶した放送局を呼び出す

リモコン

本体

プリセット/フォルダー



(くり返し押す)

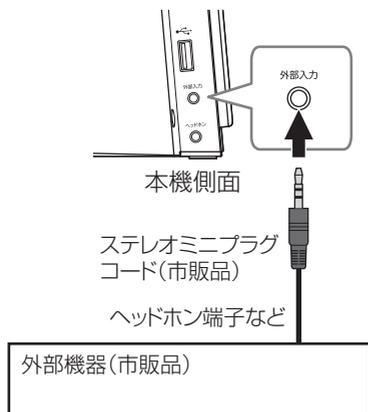
(くり返し押す)

外部機器を聴く

外部機器を接続する

・お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 本機の音量を最小にする
- 2 外部入力端子に外部機器を接続する



外部機器を聴く

- 1 「AUDIO IN」を選ぶ

リモコン

本体

外部入力

ソース

(くり返し押す)

- 2 外部機器の再生を始める
- 3 音量を調節する

その他の機能

サウンドモードを使う

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

リモコン

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

FLAT : 音質をフラットにしたいとき

CLASSIC : クラシックを聴くとき

ROCK : ロックを聴くとき

POP : ポップミュージックを聴くとき

JAZZ : ジャズを聴くとき

HBS : 低音を強めたいとき

お知らせ

- ・ヘッドホンからの音声にも効果があります。

表示される情報を変える

音楽 CD、MP3/WMA ファイルの再生中に

リモコン

本体



(くり返し押す)

(くり返し押す)

各種の情報表示に切り換わります。

お知らせ

- ・ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- ・本機は ID3 TAG VERSION1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)を表示できます(ただし半角英数字のみ、小文字は大文字で表示されます)。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。



(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

SLEEP 10 → SLEEP 20 → SLEEP 30 →

SLEEP 40 → SLEEP 50 → SLEEP 60 →

SLEEP 70 → SLEEP 80 → SLEEP 90 →

SLEEP OFF → (最初に戻る)

- ・スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- ・スリープタイマーを解除するときは、「SLEEP OFF」を選んでください。

残り時間を確認する



残り時間を数秒間表示します。

その他の情報

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH 2.1+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。

再生できる CD とファイル

- CD 規格 (CD-DA) に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることを確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 
ファイル	<ul style="list-style-type: none">• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW• CD-R/CD-RW または USB メモリーの MP3/WMA ファイル

USB メモリーのご注意

- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機の外部入力端子に接続して再生してください。(p. 22)
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機の電源が入っているときは、USB メモリーに電源供給および充電されます。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式 (UDF フォーマット) は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

MP3/WMA ファイルのご注意

- 再生できる MP3/WMA ファイルは<.mp3> または <.wma>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成された MP3/WMA ファイルを再生できます。

サンプリング周波数: 32/44.1/48 kHz

転送レート: MP3: 32 kbps ~ 320 kbps

WMA: 32 kbps ~ 320 kbps

- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 99 のフォルダーおよび 999 曲を認識します。また、CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 999 曲を認識します。
- DRM (著作権保護) ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3/WMA ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- MP3/WMA ファイルの再生順について

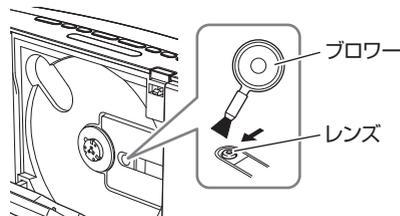
オーディオファイルの再生順について
(オーディオファイルを含まないフォルダーは無視されます。)

- 再生時は、先に作成したフォルダーから順番に再生します。フォルダー内では、録音した曲順で再生します。
- パソコンを使ってフォルダー名やファイル名(曲名)を変えた場合は、順番が変わることがあります。

お手入れについて

CD プレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CD トレイのカバーを開け、図のようにレンズを清掃してください。



- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブローアを使って、はき出してください。
- 市販の CD レンズクリーナー (乾式タイプ) を利用してください。

CD の取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき



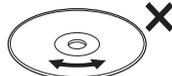
ケースに入れるとき



- CD にテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD (特殊形状の CD) は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CD をお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from iPhone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc. の商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ
<http://www3.jvckenwood.com/>
から最新の製品 Q&A 情報をご覧ください
いただくことで解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホーム
ページや下記をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあ
ります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの動きで、多くの動作を行なっています。
どのボタンを押しても正しく動作しないときは、
一度電源コードをはずし、しばらく待ってから接続し
直してください。

共通

電源が入らない。

- ➔ 電源コードを正しく接続してください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

- ➔ 操作には時間制限があるものがあります。もう 1
度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮ら
れていませんか。
- ➔ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電
池と交換してください。

音声が聴こえない。

- ➔ 音量が最小になっていませんか。
- ➔ ヘッドホンをはずしてください。

USB メモリー/CD

再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ CD はラベル面を正面にして入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD または
レンズを清掃してください。(p. 25)
- ➔ 「バケットライト方式(UDF フォーマット)」で録
音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。
本機の外部入力端子に接続してください。
(p. 22)

MP3/WMA のグループやトラックが意図したよう に再生できない。

- ➔ 再生順は、グループやトラックを録音した書き込
みソフトによります。

USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してくだ
さい。
- ➔ 正しく書き込まれた MP3/WMA ファイルを再生
してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直して
ください。

USB メモリーに録音したファイルを CD-R にコ ピーしたい。

- ➔ パソコンでの操作になりますので、お使いのパソ
コンのメーカーにご相談ください。

ラジオ

雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ AM アンテナを調節してください。(p. 20)
- ➔ FM アンテナを調節してください。(p. 21)

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの A2DP に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの AVRCP に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力: 1.6 W + 1.6 W (JEITA* 8Ω)

CD プレーヤー部

対応形式: 音楽 CD、MP3、WMA、CD-R/CD-RW (ISO9660 Level1)

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

AM: 531 kHz - 1629 kHz

アンテナ: FM: ワイヤアンテナ

AM: バーアンテナ (本体内置)

入出力端子

USB ホスト: 出力: DC 5 V  500 mA
仕様: USB1.1 フルスピード規格対応
対応機器: USB マスストレージクラス 機器
ファイルシステム: FAT16、FAT32
対応ファイル形式: MP3、WMA

外部入力: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

ヘッドホン (出力): ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz 12 W(動作時) 1 W 以下(電源待機時)
最大外形寸法:	幅 310 mm × 高さ 148 mm × 奥行き 85 mm
質量:	1.6 kg

スピーカー部

スピーカーユニット:	6 cm コーン型
インピーダンス:	8 Ω

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

- 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輦、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。
 - 消耗品(電池など)の消耗。
 - (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
 - (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
 - 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社 JVC ケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

(携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950、FAX 045-450-2308)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 / 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)



保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号
型名	NX-PB30	
お客様	お名前	ふりがな
	ご住所	電話 () -
お買い上げ年月日	年 月 日	お買い上げ日から 保証期間 本体 1年間
お買い上げ店	住所・店名・電話	

公開用

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12